

安平町の

ハザードマップが

新しくなりました

広報あびら5月号と合わせて配布した「安平町防災ハザードマップ」。

このハザードマップは、自分が住んでいる地域で何かしらの災害が発生した時に「どこいった危険があるのか」、「どこへ避難したら良いのか」といった情報を地図上にまとめたものです。

今回、新たになったハザードマップは、最新の災害情報（町内で発生する可能性がある洪水や土砂災害、地震）が住宅地図をベースにまとめられており、災害発生時の避難ルートなどが従来のものより、分かりやすくなっています。

しっかりと確認していただき、日頃からの防災意識の醸成、災害に対する正しい認識を深めるためにも、ぜひ活用ください。

そもそもハザードマップって？

ハザードマップとは、自然災害が発生したときの被害の軽減や防災対策のために、危険と思われる箇所（被災想定区域）や災害時に避難する場所を地図に表示したものです。

安平町防災ハザードマップは、平成22年3月に洪水ハザードマップを作成し、平成26年10月に改訂。今回は、令和4年3月、洪水の被災想定を新たな基準に変更し、土砂災害、地震のハザードマップを新たに加えて作成しました。ハザードマップを冊子とすることで、平素の防災訓練などの備えから、災害発生時の避難行動までお使いいただけます。

ハザードマップ どんな構成？

A4版、30ページから構成しており、地図には洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域、指定避難所・指定緊急避難場所（災害対応別）、推移観測所で情報が記載されています。

1ページ 避難所一覧
自宅の近くにある避難所を確認します。

2～4ページ 各災害について

避難行動の参考となる情報です。日頃の備えや訓練の際に活用してください。

5ページ 揺れやすさマップ

6～30ページ

洪水・土砂ハザードマップ

6ページ 全体図

7～10ページ 追分地区①、②

11～12ページ 安平地区③

13～18ページ 早来地区④～⑥

19～20ページ 遠浅地区⑦

21～30ページ 詳細図



- ・表紙：気象防災情報入手先、災害用伝言サービス
- ・裏表紙：防災メモ、緊急時連絡先

